

道退教

上川・旭川支部ニュース

NO109 2013年11月27日(金)発行

発行責任者 支部長 田代和義 事務局 梁川勝利

〒078-1315 上川郡当麻町5条東4丁目15-1 ☎/F 0166-84-3718

ニュースも 処罰の対象に？

秘密保護法案 を廃案に！

秋の交流会から約2ヶ月経ちましたが、その出欠返信に、「自身の病気や家族の病」について書かれているのに目が留まり、胸がとても痛みました。心よりお見舞い申し上げます。

道退教の皆さんは、そもそもリタイヤ組。その後の人生をどう有意義に過ごすのか、人生設計図を描いての暮らしであろうことは言うまでもありませんが、必ずや通る老いをどう迎えるか、その対応策も欠かせません。健康を保つための方法や、患った場合の過ごし方まで…。また、病気と闘わずに共に生きるという言葉も耳にします。ひと時でも集まって語り合い、笑い合い、愚痴や自慢話も含めて情報交換で元気を貰えるのですが、それが許されない会員もいて、元気な会員に何ができるのか考えてしまいます。人生に定年はないので、健康長寿薬と言われる物質を探したいものです。相川さんが書かれたように、病気の他、老後の不安、福祉の低下が最も気になるところです。

■季節は廻り、あと一月で2013年の幕が下りますが、それにしても、7月の参院選・自民圧勝？の後、安倍政権の経済界への忠誠ぶりや日米安保強化で平和が築けるとオスプレイを呼び込みながら、「積極的平和主義」を唱え、憲法改悪のための段取りを着々と進めています。解釈改憲を進めつつ、9条も、96条も変える前に、「特定秘密保護法案」に手を染めて、憲法を骨抜きにしようとする牙をむき出す暴走ぶり。

皆さんは、とうにご存じのこの法案、戦後築いた民主主義や、国民の権利、基本的人権などなど、全て奪おうというのですから、事態は深刻です。もしも、法案が通るようなことがあれば、「真実を解き明かそう！」などと、支部ニュースに書けば、扇動したとして逮捕されかねません。



一方の男性軍



もう一方の女性軍

謳い文句のように、「軍事、外交、テロ防止、スパイ防止」の「4項目の秘密を洩らした公務員は10年以下の厳罰」に、と強調している安倍政権ですが、その危険性を早くから見抜いていた共産党、社民党は、「廃案」を主張して、国会論戦を展開。他の野党が修正案などで対抗策？を講じていますが、全部飲み込まれ、法案の本質を変えることにはならないのは、これまでの答弁から明白です。

国会で少数でも、各方面に働きかけ奮闘している結果、緊迫状況の中で、11月初旬には、日弁連も、道弁連も緊急集会や声明を出し、TVジャーナリスト大谷昭弘氏、鳥越俊一郎氏、田原総一郎氏ら9名が「廃案しかない」と、緊急記者会見を開き、メディアに行動をするよう呼びかけました。

また、道新は11/15に大きな特集記事を組んで、「廃案しかない」と非常に良心的な内容を書きました。出版会の長たちも立ち上がり、腰が重かった、「朝日」も「毎日」も、そして、ほとんど沈黙を通していた「NHK」もホントにぎりぎりになって、世論に押された形で「問題を提起」をしました。(本気に感じられないが)

こうして、各地、各界で反対する動きが急速に広まって、道弁連の集会で堤 未果さんが「無知、無関心、無気力」ではいけないと警鐘を鳴らしましたが、特に、報道の自由や国民の知る権利が奪われ、国民が官憲の監視下に置かれる治安維持法の再来だと言われています。残念なことに、11/26午前、自民・公明が参院での審議を打ち切る動議を出して「審議打ち切り」を決定して大きな山場を迎えました。

今からでも何とか、一人でも多くの声を上げ廃案にさせましょう。

・秋日和集いし老いの面まぶし
・客増えし庭のブドウの輝きぬ
・ボタン誉む花瓶とともに届きたる

小平一郎



宴たけなわの女性軍

抗議先 内閣総理大臣 安倍晋三 様 Fax 03-3581-3883
自民党 Fax 03-5511-8855 公明党 Fax 03-3353-3281

前号のニュース9月時点では、下記の消費税に関わる記事と、交流会の記事を中心に書く予定でしたが、重要法案が審議され始めたため、今回急遽記事にした次第。
*次回は1月末発行予定ですので、皆さんの意見など、どしどし事務局へ送り込んでください。



■「消費税を来年4月から値上げ」と決め込んだことに、道新は53%の国民が賛成だと報じられていました。それを受けて、「あさひかわ新聞」編集長の直言記事が載り、「国民総白痴化？」と指摘。様々な状況下で値上げに賛成だとするアンケートに大きく首をひねっていました。

朝日も読売もこぞって「値上げやむなし！」の論調のなか、地方紙だけが国民の実態を正直に指摘していますが、中央紙は、すでに御用新聞と化していると言っても過言ではないでしょう。(ちなみに筆者は腹が立ち長年愛読した朝日を6月で中止に) それにしても、国民の声をこれほど聞かない政権も珍しいと思いませんか。過去の自民党政権下でも、ごり押しを幾度か経験しましたが、こんなことは記憶にないほどです。現状を見ると国民はあまり腹を立てないほど能天気？諦めている結果ではと思うのですが・・・

「天高く・・・交流会」

剣淵「絵本の館」見学から始まった交流会は、まさに秋日和となり、先ずは三つのお話に耳を傾けました。



一つ目は、ご存じ滝平二郎の名作「花さき山」、二つ目は、東日本大震災がテーマの「ひまわりのおか」、そして、エプロンシアターでの「若返りの水」(合唱曲で親しまれている)を聞き、およそ25分読み聞かせの後館内見学。何やらここでコンサートが出来るとか出来ないとかアイデアも浮かんだみなさん、そして、コーヒープレイクの時間が取れて、しばし館内のムードに浸りながら過ごし、隣接する鎌田敏子会員宅へ移動。



絵本の館で聞き入る

広いお庭を散策拝見しながら、「昔、ここで生研の

学習会をした」という会話も飛び交い聞き入りました。

研さんを積み、学んだ若かりし頃を懐かしむ声を聞きつつ、皆さんは実り迎えたブドウに手を出して、それぞれほおぼり味わいました。まさに恵みに舌鼓を打ちながら、築90年が経つというお宅に上がり込んで、絵画で腕ふるう鎌田さんのパステル画「アルパカシリーズ」数点の説明を受け、生活ぶりもお聞きしました。9月の「純生展」に出品され、「会友賞」を受けた「アルパカ望郷」も鎮座していて、当然ながら制作話に花が咲きました。あの可愛い目が彼女の微笑とダブって見えました。

「レークサイド」の名にふさわしいホテルは通常日にもかかわらず客が大勢きていましたが、入浴目的の方だったのでしょか。こちらも宴会の始まる前に入浴する仲間が何人もいて、ゆったり気分が始まった真の交流会。支部長は、従来の「楽しみ3分、活動7分」が、今は、「活動と楽しみの統一」が方針の道退教で、活

動の中に楽しみを見つけて欲しい旨の挨拶があり、恒例の近況報告では、趣味の話と健康の秘訣などが語られました。

特徴的だったのは、水嶋さんの「くよくよせず、やりたいこと、やれることをどんどんやること」、その話ぶり、迫力に圧倒されました。また、斉藤さんの踊りの「片足で一回り」する動きに、「バランスが取れている」と感心する声が飛びだすなど、日ごろの練習の賜物ぶりがうかがえました。山田さんは、勤医協友の会の仕事をしているそうで、一条病院の新築に関わって、資金財政面の協力を訴えましたが、立地場所の難問題にも触れました。倉田さんは、庭で初めて育てたミニトマトがたわわになり、美味しくとてもうれしいと語りました。小北さんは、車の整備に出かけたところ、会社に、昔「ひまわり学校」で学んだ生徒がいて、偶然出会えた話をしました。佐藤さんは、82才の今も、毎年、山登りや仲間ですキーを楽しんでいる話をしました。

こうして、2時間たっぷりと一次会を過ごした後、部屋に移り二次会で歓談して終えました。

教育署名ご協力ありがとうございました。

- ・朝倉さん 10
 - ・鎌田さん 10
 - ・五十嵐さん 10
 - ・山田さん 20
 - ・三瓶さん 10
 - ・北市さん 100
 - ・梁川 270
 - 計 430 筆 (11/25 現在)
- *署名は「上川教組」へ、署名数は本部に報告します。他団体に報告された方は急ぎ連絡ください。

■川口由紀子さんが10月より札幌へ転出され、札幌支部に加入する旨連絡がありました。長年慣れ親しんだ上川を後にすることになり、くれぐれもよろしくとのこと。また、三好武志さんが車椅子生活となり、会での活動が不可能になったため脱会する旨連絡がありました。

これまで、ご両人には、種々お世話になりました。会のためのご協力有り難うございました。お元気で！時々顔を見せてください。